

カワスミコネクティングセット

（ニードルレスアダプター）

再使用禁止

【警告】

＜使用方法＞

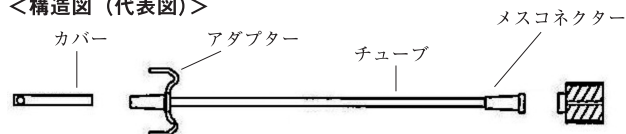
1. ヘパリンナトリウムなどの血液凝固阻止剤を希釈若しくは溶解して持続投与を行う場合には、ルアーロックタイプの注射筒や注入ラインを使用し、血液回路と接続すること。[注射筒等との接続が外れ、血液漏れや空気混入の危険性があるため。]
2. 動脈側回路及び静脈側回路上に輸液等の持続投与を行う場合には、ルアーロックタイプの輸液セット等を使用し、接続すること。ただし、接続外れ時に血液漏出等を防止できるアクセスポートを利用する場合は除く。[輸液セット等との接続が外れ、血液漏れや空気混入の危険性があるため。]

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

＜構造図（代表図）＞



1. 本品は、ポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ2-エチルヘキシル）を使用している。
2. 各回路及び部品は省略、または追加される場合もある。

構成部品の主な材料

構成部品	材料
アダプター	ポリカーボネート
チューブ	塩化ビニル樹脂
メスコネクター	ポリカーボネート

【使用目的又は効果】

本品は滅菌済であるので、そのまま直ちに使用できる。

【使用方法等】

1. 使用期限内であることを確認の上、使用直前に本品が汚染されないよう包装から取り出す。
2. 輸送中にキャップがゆるむ場合があるのでゆるみや脱落がないことを確認すること。
3. 接続部位を消毒し、真っ直ぐに挿入すること。
4. 接続部が確実に接続されていることを確認すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 本品の使用中に血液・補液の漏れ、エアーの吸い込みなどの異常が生じた場合は、直ちに医師の指示に従い処置すること。
2. チューブを鉗子等でクランプする場合、鉗子等で傷つけないよう注意すること。
- ＊ 3. 鉗子根本部又は先端部でチューブをクランプしないこと。
[チューブが破損し血液・補液等の漏れ、エアー吸い込みのおそれがある。]

4. 包装開封後は直ちに使用すること。
5. 使用に際しては無菌的に取り扱うこと。
6. 本品はニードルレスアクセスポートのゴムの中心に真っ直ぐ穿刺し、医薬品の注液状態を確実に確認すること。抜く時は、真っ直ぐに抜くこと。斜めに抜くと、血液漏れが発生するおそれがある。
7. 使用中は本品の破損、接合部のゆるみ及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。^{1,2)}
8. 脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤またはアルコール等の溶解補助剤などを含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、コネクターのひび割れについて注意すること。
[薬液により延長チューブ等のコネクターにひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入の可能性がある。特に全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響が生じる可能性がある。なお、ライン交換時の締め直し、過度な締め付け及び過度な増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。]^{1,2)}
9. コネクター部に薬剤がかかるとひび割れが生じる危険性がある。アルコール等の消毒剤、局所麻酔剤、脂肪乳剤等が付着しないようにすること。
10. ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。^{1,2)}
11. 本品は、可塑剤であるフタル酸ジ2-エチルヘキシルが溶出するおそれがあるので、注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水濡れに注意し、直射日光・紫外線・高温多湿を避けて保存すること。

＜有効期間＞

有効期間は自己認証（当社データ）による。
使用期限は外箱表示参照のこと。

【主要文献及び文献請求先】

＜主要文献＞

- 1) 日本医療器材工業会ポリカーボネート対応ワーキンググループ：ポリカーボネート製三方活栓のクラックに関する試験報告書1（脂肪乳剤での試験結果）（2003）
- 2) 日本医療器材工業会ポリカーボネート対応ワーキンググループ：ポリカーボネート製三方活栓のクラックに関する試験報告書2（脂肪乳剤を除く油性成分、溶解補助剤）（2003）

＊ ＊ ＜文献請求先＞

SBカワスミ株式会社
TEL 044-589-8070

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＊ ＊ 製造販売業者

SBカワスミ株式会社
TEL 044-589-8070